

🌲 オープニングセレモニー 10:00~11:00

「まこ × まち 2015～動き出すまこまる～」の開催にあたり関係者の方々よりご挨拶をいただき、テープカットとともに「まこまる」がオープンしました。その後子ども餅つき体験会では、イベントに参加した子どもたちが自分でお餅をつき、これからますます賑わっていく「まこまる」のオープンを祝いました。



生島副市長挨拶

子ども餅つき体験会

🌲 体験する「まこまる」 10:00~15:00

まこまるで活動していく事業者がプレオープンとしてそれぞれの活動内容の紹介や、体験ができるイベントを行いました。その内容をご紹介します。

- ちあふる・みなみ（南区保育・子育て支援センター）
施設オープン後は常設になる子育てサロンを実施し、多くの親子に参加してもらいました。
- Coミドリ（子どもの体験活動の場）
珍しい楽器にふれたり、グラウンドでの雪遊びなど、子ども達に様々な活動を体験してもらいました。
- まちの学校（札幌市立大学 COC キャンパス）
まちの人が先生になる講座（「まちの先生」）や学生企画であるクレヨンでフロッターージュ（こすりだし）を行う遊びなどを通して、子どもから高齢者まで様々な交流が生まれました。
- コミュニティカフェ
美味しいクッキーやコーヒーの調理・配布を、地域の方にも協力を得ながら実施しました。



子育てサロン
(ちあふる・みなみ)

遊びの部屋
(Coミドリ)



まちの先生
(まちの学校)

コミュニティカフェ

🌲 札幌市立大学による発表

「まこまる」のオープニングイベントに併せて、札幌市立大学による COC 事業の成果報告会や、学生が南区を対象として、地域課題の発見、企画提案型プロジェクトに取り組んだ演習（学部連携演習）の発表会、成果パネルの展示等を行いました。

●COC フォーラム 2015 (11:00~12:00)

COC 事業で取り組んできた成果報告や COC キャンパス「まちの学校」についての説明等を行い、地域に開かれたキャンパスであることを知ってもらいました。
また、COC 事業の事業成果についてのパネル展示も併せて行いました。



●学部連携演習 発表会 (13:00~14:00)

地域の方の協力を得ながら実施した学部連携演習の代表 3 チームの発表と全チームの成果パネルや模型の展示を行いました。
参加した地域の方からの質問に学生が答えるなど、学生と地域の方の交流が図られました。



発行者（共同発行）

- 真駒内地区連合会 〒005-0014 札幌市真駒内幸町2丁目 真駒内まちづくりセンター
TEL. (011) 581-3025 FAX. (011) 581-8020
- 札幌市 市民まちづくり局 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
都市計画部地域計画課 TEL. (011) 211-2545 FAX. (011) 218-5113

さっぽろ市
02-C05-15-617
27-2-457

真駒内まちづくり通信

平成 27 年 4 月
第 6 号



まこまるオープニングイベントを開催しました！

🌲 まこ × まち 2015～動き出すまこまる～開催目的

平成 23 年度に閉校となった真駒内緑小学校の跡施設「まこまる」が、子どもを中心とした連携・交流の場として、平成 27 年 4 月からオープンしました。そこで、「まこまる」について多くの方に知っていただけるよう、オープニングイベント「まこ × まち 2015～動き出すまこまる～」を開催しました！！



🌲 まこ × まち 2015～動き出すまこまる～開催概要

- ◆開催日時 平成 27 年 3 月 21 日（土） 10：00～15：00
- ◆開催場所 まこまる（旧真駒内緑小学校） 真駒内幸町 2 丁目 2-2
- ◆主 催 札幌市
- ◆協 力 真駒内地区連合会、札幌市立大学、社会福祉法人札幌全育会
特定非営利活動法人さっぽろ AM スポーツクラブ、札幌プレーパーク連絡会
- ◆参加者 629 名（真駒内地域住民を中心とした札幌市民のみなさん）

🌲 開催された各種イベント

※詳細は内面に掲載

◆オープニングセレモニー

- ・テープカット
- ・子ども餅つき体験会

◆みんなで考える真駒内のまちづくり

- ・真駒内の未来をかんがえよう！！
- ・まこマルシェ

◆体験する「まこまる」

- ～まこまるで活動を始める各団体がプレオープン！～
- ・ちあふる・みなみ（南区保健・子育て支援センター）
- ・Coミドリ（子ども体験活動の場）
- ・まちの学校（札幌市立大学 COC キャンパス）
- ・コミュニティカフェ

◆札幌市立大学による発表

- ・COC フォーラム 2015
- ・学部連携演習発表会





「みんなで考える真駒内のまちづくり」

🌿 まちづくりルーム 10:00~15:00

「真駒内の未来を考えるまちづくりアイデアコンペ」受賞作品の展示を行い、各受賞作品についてつづやきを投票してもらい、参加者でまちづくりについて一緒に考えるワークショップを行いました。これらの結果をご紹介します。(以下一部抜粋)

● つづやき投票

◆ 優秀賞【“働くママ”なら真駒内】

- ・働くママがどこでも勤務できるフリーのオフィスがあると嬉しいです！
- ・働きながら子育てについて気兼ねなく頼れる場所、仕組みがほしい。

◆ 優秀賞【SAPPORO LIFESTYLE SHOWCASE】

- ・駅前が賑やかになるととても嬉しい。
- ・男性が行きやすい場ももちろんですが、高齢者がふらっと立ち寄れるおしゃべりの場がなん箇所かあるといいですね！

◆ 佳作【みんなでつくる あたらしいまちのかたち】

- ・生徒たちが勉強できる場所が欲しい。もう少しお店が欲しい！
- ・ここに子どもが集まればその親も集まり、人もお金も動くようになる！

◆ 佳作【まちを再生する壺 (POD)】

- ・居酒屋構想いいですね！札幌の街並みは全体的にスタイリッシュすぎると思うので、もう少し息抜きのできる市場や居酒屋、町、路地を作った方がいい。
- ・お野菜の直売所があると嬉しいです。

◆ 佳作【(く)のデザインとマネジメントで再生する真駒内のバイタリティ】

- ・もっと本屋さんなど住民のよく使う店を増やして欲しい。

◆ 佳作【共有しようとする気持ちが真駒内を美しくする】

- ・南区には本屋が少ないので図書館が大きくなって欲しい。子どもも大人も楽しめる図書館を希望します。

◆ 奨励賞【Re:MAKOMANAI-未来を見据えた多世代共同住宅都市への更新-】

- ・働きがりの世代にとってシニア世代から助けがあると嬉しいです。
- ・子どもが安心して過ごせるまちにしたい！

◆ 奨励賞【まちづくりを楽しむまち】

- ・真駒内農園の直売所があると嬉しいです。
- ・自然を活かして活性化するのはいいと思います。

◆ 審査員特別賞【真駒内と共に生きる】

- ・バスターミナルが綺麗になるのは嬉しい。
- ・小学生から行けるようなジュース一杯 50 円カフェを作りたい。

◆ 審査員特別賞【虹と雪「100年目のバラード」へ】

- ・ロープウェイかっこいいので大賛成です！！乗りたい！！

◆ 審査員特別賞【札幌市真駒内シニア会館】

- ・シニア世代の力を世代を超えてお借り出来ると嬉しいです。

◆ 審査員特別賞【思い出の森- 2100 年を見据えた 30 年のまちづくり-】

- ・木も街も育っていくそんな緑の真駒内ができたら良いと思います。



「まこ × まち 2015」において実施した、真駒内のまちづくりについて参加者と一緒に考えるプログラム「みんなで考える真駒内のまちづくり」の取組を紹介します。その他の取組については裏面で紹介しています。

● ワークショップ

(二部開催) 午前の部 11:15~12:00 午後の部 13:45~14:30

平成 26 年 12 月 17 日 (水) と平成 26 年 12 月 20 日 (土) (会場:ユニバーサルカフェ minna) で開かれた第 1 回・第 2 回カフェトークで、参加したみなさんから出された「これから取り組んでいけそうなこと、取り組むべきこと」について、午前と午後の 2 回のワークショップを開催し、意見交換をおこないました。(以下一部抜粋)

【イベントの開催 (お祭りなど)】

- ・まず人を集めることが課題である。
- ・澄川で行っている「まちまつり」を真駒内版でやって欲しい。
- ・朝市を行いたい人は多い。

【みんなで話し合う場をもっと設ける】

- ・場を用意すると同時に人づくりも大事。
- ・保育園の先生に教えてもらうなど、コミュニケーションを学べる場があると良い。
- ・高齢者や子ども、障がい者などとそれぞれ別で集まるのではなく、さまざまな人が集える場所にしたい。
- ・ボランティアでも専門的な知識が必要な場合は、最初に学べる場所があると良い。(例えば非行にはしつた子どもへの対応など。)

【真駒内と南区内の他地域と連携していく】

- ・真駒内が南区の拠点になると良い。
- ・真駒内だけが増える事を考えるのではなく、他も衰退しないようにかんがえていくべき。
- ・石山と一体的に考えていく。

【自然や土に触れ合える機会づくり】

- ・真駒内の豊かな自然を活かし、活用していくべき。

【高齢者が住みやすく活躍するまちづくり】

- ・元気な高齢者が高齢者を支える仕事など、やりがいをもっていつまでも働ける場所、施設に。
- ・高齢者が多くみんな安心して暮らせるように。

【今後の住まい方を考える (若い人にもっと住んでもらう)】

- ・利便性、遊び場、アルバイトのできるお店などが少なく学生が住むメリットが少ないが上手くやれば学生ら呼び込み、数百名真駒内に住んでもらえる可能性がある。

【エリアマネジメントを進める団体】

- ・色々な動きをまとめる必要がある。
- ・地域の人々が自主的に活動し、みんなが繋がれる仕組みにする。
- ・プレーヤーは揃っている環境だと思うので、それを取りまとめる組織をつくり、密に話し合いや共有をすることが必要だと思う。

【駅や駅前空間の魅力づくり】

- ・若い人呼ぶには駅を魅力的にし、お店も増やすべき。
- ・駅前朝市を行えると良い。
- ・子育てには良い環境である。
- ・今の真駒内が好きなので、このまま発展して欲しい。

【その他】

- ・どれから取り組んでいくのか、誰が取り組んでいくのかわからない。
- ・スポーツで人を集めると良い。
- ・地元の人と外部の人のバランスも大事である。



🌿 まこマルシェ 11:00~14:00

これまでのカフェトークで朝市の開催を望む意見が多く出され、南区で活動されている方々の商品を扱う素敵なマルシェを実施しました。



🌿 まこまる紹介コーナー 10:00~15:00

まこまるに入る事業者についてパネルを展示し、新しく動き出すまこまるの紹介をしました。

